		 行	 動	フ·争業前頃 	<u> </u>							 事	 業 計	画	2011 1-11			7,	区生物多镓住推進云議
内容	N	項目(事		内	容	担当部署	取組み					計画(_	上段) / 実績	(下段)					○評価 ●課題等
内台	0			N	台	担当部者	収組の	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
								調査方法の 検討	調査方法の 継続検討	調査方法の 継続検討	調査(これ までの実績 整理)	調査(これ までの実績 の整理)	緑の基本計 画への記載 方法の検討	緑の基本計画への記載方法の検討	緑の基本計 画への記載 方法の検討	緑の基本計 画への記載 方法の検討	緑化地域制 度の導入検 討	緑化地域制 度の導入検 討	年度に見直しを検討する予定であるため、そ
1生多性保さてる所守続ま物様が全れい場をりけす	1	緑地の指定 【重点】	や、大にて、	3多様性の中生される。 注解の基本 注解の基本 は他を指定し、。	D分布拡 Aとし +画など	景観·都市計画課(道路公園) 計画路公園 課) (環境 以環境 以策	公園等において、生物 多様性の中核地や分布 拡大に資する拠点性の 調査を行い、緑の基本 計画などで緑地として指 定し保全します。	62 U = 1 = 1 = 1 =	緑化計画に おいての助 言(在来種 の植樹):73 件	緑化計画に おいての助 言(在来種 の植樹):80 件	緑化計画に おいての助 言(在来種 の植樹): 102件	緑化計画に おいての助 言(在来種 の植樹): 92件	区の指定 緑の基本計画への記載	緑化重点地 区の指定 緑の基本計 画への検討	区の指定 緑の基本計 画への記載	緑の基本計 画に、緑化 地域制度の		緑画のジ調に域入ジ併 型見討ーすと 本直スルる はカスユせ でいる はいる はいる がいる はいる がいる はいる がいる はいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる がいる が	の際に緑化地域制度の第1については検討
所守続ま							民有地にある大径木を	情報収集・ 検討	情報収集・ 検討	一部の公園 敷地内で試 行調査の実 施	調査(富士見・神田地区)	調査(大丸 有・霞が関 地区)	·調査(麹 町·永田町 地区)	保存制度の 検討	保存制度の 検討	保存制度の 検討	保存制度の 検討	保存制度の 検討	〇大径木の保存制度 の検討を行った。
	2	大径木の 保存	大径の制	の多様性に含まれた。 は本を保存する はまで構築し	寄与する するため ンます。	環境政策課	保存するための制度に ついての検討を進めま す。	他自治体の 情報収集	大径木の必 要性を含め 調査対象木 の選定及び 進め方検討	・千鳥ヶ淵 公園、清水 谷公末調査 を本調査 ・区全域調査 ・区の手法検討	調査実施 (富士見・神 田地区)	調査実施 (大丸有・ 霞ヶ関地 区)	調査実施 (永田町・麹 町地区)	再調査・保 存制度の検 討	保存制度の 検討	保存制度の 検討	保存制度の 検討	景観・都市 計画課との 調整を実施	●景観・都市計画課と の調整の結果、環境政 策課での保存制度の 実施は見送られた。
								制度の周知	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	〇地域主体で草花の 植え替え等を行ってお り、一年を通し、季節に
2生多株の	3	アダプト システム の推進	や草行う	が公園の混花の手入れ なアダプトミ 進します。	いなどを ソステム	道路公園課		いて草花の	公園(7か 所)道路(8 か所)にお いて草花の 植え替え実 施	公園(8か 所)道路(7 か所)にお いて草花の 植え替えを 実施	公園(8か 所)道路(7 か所)にお いて草花の 植え替え実 施	公園(7か 所)道路(7 か所)にお いて草花の 植え替え実 施	公園(7か 所)道路(7 か所)にお いて草花の 植え替え実 施	公園(7か 所)道路(7 か所)にお いて草花の 植え替え実 施	か所)にお いて草花の	か所)にお  いて草花の	か所)にお  いて草花の	公園(6か 所)道路(8 か所)にお いて草花の 植え替え実 施	応じた草花に触れ合える環境が整っている。 ●未実施や参加人数が少なくなっている箇所について対応策の検討が必要。
保活が続け								概要の検討	類似制度の 調査実施	表彰制度構築	表彰制度開 始	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	〇広報紙・区HP・ツイッターのPRのほか、副校園長会で応募を呼びか
2生多性保活がけれ仕み作ま物様の全動続らる組をりす	4	生物多様 性表彰制 度の創設	1 / 10	や事業者なる機性に関する。	などの生 する優秀 ドレま	℡÷芯华郶	平成27年度に制度を構築し、平成28年度から 築し、平成28年度から 制度の運用を始めま す。	表彰制度を構築する手順等の検討	①表彰制度 に関リ集 ②区が創設 での概要検 記を表表	推進会議で の検討を踏 まえ制度を 構築	募集期間:6 月15日~9 月30日 応第事件3 (団位) (団位) (団位) (日位) (日位) (日位) (日位) (日位) (日位) (日位) (日	募集期間:6 月1日~9月 30日 応募件数:7 件(団体2、 個人3) 受賞:5件	月1日 応募件数:2 件(事業者 1、個人1)		募集期間:6 月1日~9月 30日 応募件数:3 件(本1、 団人1) 受賞:3件	募集期間:6 月1日~9月 30日 応募件数:3 件(事業者 1、質:2件	月1日~9月	月1日~11 月30日 応募件数:6 件(事業者 2、個人2、 学校2) 受賞:2件	けたことにより、応募件 数の増加が図られた。 また、以前の受賞者もおり、この表彰制度の意 を感じている。 ●以前より課題になって、今後募集期間の延 長(5月開始)を機会を 増やしていく。

		行	動	計	画							事	業計	画					
内容	Ν	項目(事	[	<u></u> 为	容	担当部署	取組み					計画(」	1	(下段)					○評価 ●課題等
130	0	業名)		区立公園		15-104-0	<b>オ</b> スが近くア	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
		生きものに配慮し	遊園、 いった おいて ガイ	こどもの こどもの 公園や後 、都市終 ドライン 種選定や	D広場と 財路樹に 最化植物 を活用		道路・公園の整備計画	検討	調整等	道路2か所 調整	公園等1か 所 調整	道路 調整公園等 調整	道路 調整公園等 調整	道路 調整 公園等 調 整	道路 調整公園等 調整	道路 調整 公園等 調 整	道路 調整公園等 調整	道路 調整公園等 調整	〇公園の改修計画に ついては、生物の生息 環境を保存する為、可能であれば既存樹木を
	<b>⑤</b>	た公りや という という という という という という という という という という	置ど生まる内もではに推、治の同	性理り配進国体街様連またが、慮しながで樹取をある。 はながでは、 はながでは、 はながでは、 はなができます。 は、	D工夫の き様。 き縁に という を は という と は と は と は る は る と る と る と る と る と る と	道路公園課	において、都市緑化植物ガイドラインを基に、 生物の生息環境に配慮	調査業務協業元お協議会路間におりません。 では、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	路樹等の設置について	神田警察通 り I 期、明 大通りの2 か所で検討	【道路】 神田警察通 り及び明大 通り調整十 【公園等】 東郷元帥記 念公園調整	大門通りI	【道路】 大門通りII 期調整 【公園等】 東郷元帥記 念公園調整	【道路】 大門通り皿 期調整(在 来種による 植栽) 【公園等】 【公園等】 盤	【公園等】 錦華公園調 整	【道路】 区道495· 503号(歩道 拡幅·新植)	神保町愛全	【公園等】 麹町こども の広場調整	活かした計画にしている。 ●樹木の選定や伐採については、沿道の状
								検討		1か所で調 査を実施	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	検討	〇錦華公園の改修工 事で改めて生息空間を 確保した。
3 生き						に (八里)	公園改修等の際、ビオトープ設置について検 討を行います。	華公園の調	谷公園の池	清水谷公園	公園内の下 水道工事境 生育環境い 影會工事 適宜を確認 況を確認	公園の改修に合わせ、生きものの生息空間づくりを検討した	公園の改修に合わせ、生きものの生息空間づくりを検討した	錦華公園の 改修に合わせ、生きも のの生息空間づくりを 検討中	錦華公園の 改修に合わせ、生きも のの生息空間づくりを 検討中	生きものの 生息空間づ くりを検討 中	生きものの 生息空間づ くりを検討 中	改修において、既存樹木を多く残したままの	●公園改修工事は、利 用者や周辺住民意見 が強く反映される傾向 があり、生き物の生息 空間の優先順位が低 い場合がある。
生もの息間くを進			区内の	公園、学	校や庁舎	環境政策課	公共施設の整備、改修 に合わせた緑地の整備 を所管部署と協議しま す。	売事等一ノに関する情報収集 ・助成の継続 (以降も継 (場)		>#	ビオトープ 調査 (富士見・神 田地区)	ビオトープ 調査(大丸 有・霞ヶ関 地区)	ビオトープ 調査(永田 町・麹町地 区)	ビオトープ の設置推進 を図るため の検討	ビオトープ の設置推進 を図るため の検討	の設置推進	の設置推進を図るため	ビオトープ の設置推進 を図るため の検討	〇ヒートアイランド対策 の緑化助成にビオトー プを含め運用した。
進ります	6	ビオトー プづくり などの推 進	等 、 、 、 、 と に り あ ま に の の は に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の に の の に 。 に 。	t施設にま プづくの生 きもします き者などに も立地条件	いて、どは、どれて、とは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで		ヒートアイランド対策助成制度を周知し、制度の活用を図ります。(助成制度の詳細は⑩)	の運用 ・庁内での	<ul><li>・助成制度 の運用</li><li>・庁内での 勉強会の実施</li></ul>	ビオトープ の定義の検 討	ビオトープ 調査実施 (富士見・神 田地区)	ビオトープ 調査実施 (大丸有・ 霞ヶ関地 区)	ビオトープ 調査実施 (永田町・麹 町地区)	ビオトープ の設置推進 を図るため の検討	ビオトープ の設置推進 を図るため の検討	の設置推進 を図るため	の設置推進  を図るため	千代田区内 におけるビ オトープの 状況を調査	●ビオトープの設置事 例が少ない。
		<b>~</b>	境再生	ルます。さ 営中の「Ŧ プラン」↓ カしてい。				検討	設計	工事	工事	工事	工事·竣工	移設後の定 着を観察	・お茶の水 小学校、幼 稚園 解体、工事	工事	工事	工事·竣工	〇屋上菜園にて幼稚園 児が野菜を育てる、小 学生が植物や池の生 物の観察を行うなどの
						課	学校の改築等の際、ビオトープの設置につい て検討していきます。	九段小学校・幼稚園のビオトープ設置検討	設計におい て約9㎡の ビオトープ を計画(現 状4㎡)	月工事着工	平はを工で物とたを平学供す変成建中。地ががた延成期を計る更年を工の障る明工し年が開きました。 東海・東海・東海・東海・東海・東海・東海・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・大学・	平成30年7 月末竣工に 向け工事中	平成30年7 月末竣工	・九校教利る・お学園で ・九校育用の ・お学園でプリー ・お学を整けで ・計画 ・お幼計 を計画	令和2年12 月工事着工	令和5年9 月末竣工に 向け工事中	白木坂工に   白け工事中	令和6年1 月末竣工 (お茶の水 小学校)	教育活動に活用することができた。  ●屋上にあるため、子どもたちの安全面にるため、中虚しながら使用するため、可能な状態の可能な状態であまた、対域では、また、対域の対域を対域を対域を対域を対域を対域を対応が必要である。

		行	動計	画							事	業計	画					
内容	N	項目(事業名)	内容	72n	担当部署	取組み					計画()		(下段)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	○評価 ●課題等
	7	地区計画制度の活	地区計画に生物多の視点を取り入れ			生物多様性の視点を導入するに当たり、法との	25年度 適合性や基 準調査	基準等検討	基準等検討	これまでの実績整理	29年度 これまでの 実績の整理	30年度 基準案の検 討	<mark>令和元年度</mark> 基準案の検 討			令和4年度 基準案の検 討		○地区計画区域内おける行為の届出にあたり、景観指導と併せて外来種ではなく在来種を植樹するよう誘導した。  ●基準を作成するにあたり、改定された緑の基本計画に基づき検討を進めていく必要がある。
4 存制や業件		用	<b>す</b> 。		神田地域またが、	性のあり方を検討し、関係権利者との合意のもと地区計画制度を活用していきます。	43 /1.51	地区計画における緑化施設の誘導	地区計画における緑化施設の誘導	ている地	地お施種大に化限て区計録をは、 はは、 はは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	基準案の検討	基準案の検 討	基準案の検 討	基準案の検 討	基準案の検討	・基準案の 検討 ・緑化率の 最低限度を 定める地区 計画の追加	植栽の配置には風対策などの目的があるものもあることから産生物多様性に場合もを生むは難しい場合もが、定計画に具体的に運用をでいることだけでなく、など更の検討も必要である。
既の度事に物様の点取込ま存制や業生多性視をりみす							「基本計画 改定 方針」の策 定	基本計画の 改定	「ちよだみら いプロジェ クト」の進捗 管理 (行政評価 制度の再構 築)	クト」の准歩	「ちょだみら いプロジェ クト」の進捗 管理	「ちよだみら いプロジェ クト」の進捗 管理	基本計画の 見直し検討	見直し結果を踏まえた「ちよだみらいプロジェクト」の進捗管理	見直し結果を踏まえた「ちよだみらいプロジェクト」の進捗管理	新総合計画 の策定検討 行政評価 (二次評価) の実施	千代田区第 4次基本構 想のもとで の行政運営 の推進	○令和5年度の将来像に向けた方針として「緑と水辺がつなぐ良質な空間を創出する(以下略)」を掲げ、またその方針に基づく令和5年度の取組みとして
	8	基本計画 の見直し	区の基本計画の見の際に、積極的に多様性の視点を取れ、各施策への浸図ります。	こ生物 収り入	◆企画課	平成25年度に策定した 「基本計画改定方針」に 基本計画改定を 基づき、生まえながだける。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	,	「ちよだみら いプロジェ クト」の策定 (平成27年3 月)	行政評価制 度の再構築	行政評価 (一次評価) の実施	行政評価 (二次評価) の実施	2サイクル 目の行政評 価(一次評 価)の実施	基本計画の見直しを実施	行政評価制 度の再構築	行政評価 (一次評価) の実施	千代田区第 4次基本構 想の策定	「千代田区 第4次基び 「将ままび 「将たた 前けた 計」を 政 た と の 実 施	「生物多様性に関する区以下の普及を発のため、 「生物多及を発のため、 を定めた。 基本構想からに、 を主がりをに、またのとで、 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を推している。 を構想としている。 をはいてででででである。 ・本きな環点がいるといるがでする。 様としている。 をがいるといる。 をがいるといる。 がいるといる。 をがいる。 がいるといる。 がいるといる。 がいるといる。 をがい。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがいる。 をがいる。 をがい。 をがいる。 をがいる。 をがい。 をがい。 をがいる。 をがいる。 をがい。 をがい。 をがい。 をがい。 をがい。 をがいる。 をがい。

		行	動	計画							事	業計	画					
内容	N	項目(事 業名)		内容	担当部署	取組み					計画(_		(下段)					○評価 ●課題等
	0	緑の基本	し、生 境のネ 慮する 性の初	基本計画を改定 きものの生息環 マットワークに配 るなど、生物多様 ほ点による緑化の	◆景観·都 市計画課	区の生きものの生息状	25年度 調査方法の 検討	26年度 調査方法の 継続検討	27年度 調査方法の 継続検討	28年度 調査(これ までの実績 整理)	29年度 調査(これ までの実績 の整理)	30年度 緑の基本計 画への記載 方法の検討	令和元年度 緑の基本計画への記載 方法の検討	緑の基本計		令和4年度	令和5年度	●緑の基本計画の記
	9	計画・緑 化推進要 綱の改定	す。 またし きもの 参様性	京を盛り込みま 緑化推進要綱を 人、在来樹種や生 のの生息にで、生物 時に配慮した緑化 を追加します。	(緑の基本計画) 道路公園課 環境政策課	況や生物多様性を踏ま え、緑の基本計画等の 改定の検討を進めま す。	緑化計画に おいての助 言(在来種 の植樹)	緑化計画の 指導(在来 種の植樹): 73件	緑化計画の 指導(在来 種の植樹): 80件	緑化計画に おいての助 言(在来種 の植樹): 102件	緑化計画に おいての助 言(在来種 の植樹): 92件	緑の基本計	緑の基本計画への記載 方法の検討	緑化重点地 区の指定 緑の基本計 画への記載 方法の検討	緑の基本計 画を改定			載のみでは実行力が 伴わないため、具体の 制度等について検討す る必要がある。
4 既存 の制 度や		<b>組の甘土</b>	し、生 境のネ 慮する 性の視	基本計画を改定 きものの生息環 ペットワークに配 るなど、生物多様 見点による緑化の	▲嘌培亚类	<b>经儿类发</b> 两侧1. 产物. 夕	情報収集	情報収集	在来種植栽 に関する指 導マニュア ル作成	緑化指導へ の 反映	緑化推進要 綱の改正	生物多様性 に配慮した 緑化指導	生物多様性 に配慮した 緑化指導	生物多様性 に配慮した 緑化指導	生物多様性 に配慮した 緑化指導	生物多様性 に配慮した 緑化指導	生物多様性 に配慮した 緑化指導	〇在来樹種の植樹を指 導し、生物多様性を推
(事に物様の点取込ま)業生多性視をりみす	10	緑の基本 計画・緑 化推進要 綱の改定	考すま改き樹多のの意味を	京を盛り込みま 緑化推進要綱を 人、在来樹種や生 のの生息にで、生物 に配慮した緑化 を追加します。	課	緑化推進要綱に生物多様性への配慮事項を明記することについて検討します。	おいて在来 種導入を指導(他自治体情報収集 は未実施)	おける生物多様性配慮事項に関する情報収集		栽するよう  指導	化推進要綱  の改正 	生物多様性 に配慮した 緑化指導	に配慮した 緑化指導	に配慮した 緑化指導	に配慮した線化指導	に配慮した緑化指導	に配慮した緑化指導	進した。  ●生物多様性に配慮した緑化指導をより浸透させる。
G 9							情報収集 助成条件の 検討	情報収集 助成条件の 検討	助成条件の 検討(継続)	ヒートアイランド対策助成金交付要綱の改正	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	〇ヒートアイランド対策 助成金の要綱を改正 し、在来種使用時の助
	10	緑化助成制度の拡充	屋上網 どの仮 トアィ	接性に配慮した 化や壁面緑化な 選進のため、ヒー プランド対策助成 拡充します。	◆環境政策 課	区民の緑化に対する助成制度の活用を推し進めるとともに、生物多様性の観点から在来種の使用を推進します。	助成条件の課題出し	助成内容の 検討	・在来種植 栽指導マ ニュアル作 成 ・助成金割 増の検討・ 決定	在来種ののはないできます。在来増をため、としているできません。これでは、というでは、というでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	ヒートアイランド対策助	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	ヒートアイランド対策助成制度の周知	緑化助成に	成金割増を行い、生物 多様性を推進した。
5 近生もと		生きもの	緑地帯	ま、公園、河川な			調査	調整	調整	調整	調整	調整	調整	調整	調整	調整	調整	○検討を継続する。
いある所増しずいれえ場をやます	(1)	を観察で	どに生	さものを観察で	◆道路公園 課	生きもの観察できる場 所を整備します。	公園及び道路に設置が可能か否かについて検討	設置可能 所及び清水 谷公園内の 既設視点 等の 法の 検討	設置可能箇 所・既設視 点場の活用 調査の実施	設置可能箇 所・既設視 点場の活用 調査の実施	設置可能箇 所・既設視 点場の活用 調査の実施	設置可能箇 所・既設視 点場の活用 調査の実施	設置可能箇 所・既設視 点場の活用 調査の実施	設置可能 所及び 高内 の は い い い い い い い る い る い る い え い る い る い る	錦華公園内 の既設視点 場等の活用 方法の検討	設置可能箇 所の検討	設置可能箇 所の検討	●規模が小さい公園等 が多く、場所の選定が 難しい。

		行	動 計 画							事	業計	画					
内容	N	項目(事業名)	内容	担当部署	取組み					計画(_		(下段)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ - \ - \ - \ -	○評価 ●課題等
	0	未石)				25年度 調査検討	26年度 調査検討	27年度 調査実施	28年度 設置検討	29年度 設置検討	30年度 設置検討	設置検討	令和2年度 設置検討	設置検討	設置検討	設置検討	○=D. \$\frac{1}{2} + \frac{1}{2} \frac{1}{
5 身なきの			生息・生育する生きも	◆道路公園 課 (区有地)	公園内の樹木・草花・生 きもの案内板や樹名板 の設置を行います。	清水谷公園内の池の生きもの調査の準備	清水谷公園 で予定する 案内板設置 のための生 きもの調査 の準備	池清掃実施 に合わせ生 物生育状況 調査実施	設置検討	設置検討	設置検討	設置検討	設置検討	設置検討	設置検討	錦華公園に 樹名板及び 草花の案内 板を設置	- ○設置を継続する。 ●公園改修時に設置を 検討していく。
身なきのふある所増し近生もとれえ場をやま		生きもの 案内板設 置事業	エ思・エ目する主さるのなど、身近な自然を紹介する案内板を設置します。		事業者等の敷地への案 内板の設置について課 題を整理し、以下の点を 含め可能性の有無を検 討します。課題は以下 の通り。	情報収集方法に関する	情報収集	・設置方法 や支援策の 検討 ・区の樹名 板設置状況 把握	設置の可能性について検討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討		〇設置についての課題 や手法について引き続 き検討を行う。
व				◆環境政策 課 (民有地)	①情報収集方法 ②整備にあたってのメ	設置費用等の情報収制を設置に関する検討の実施	設置・維持・活用に関する情報の収集	区内のいく つかの公園 をピックアップし、樹置 板の設置状 況を把握	設置の可能性について検討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	設置方法や 支援策の検 討	●民有地において生きもの案内板の設置を求めることは困難な側面がある。緑化指導の中で、樹名板の設置についての協力依頼が必要である。
6 外生へ対			オオクチバス、ブルーギル等の特定外来生物や、在来生物の生息・生育を脅かすミシシッピアカミミガメ、アメリカザリガニなどの外来生物の放逐禁止、	◆地域保健	既存のガイドブック(ペットとしあわせに暮らす)	フレット)の	ガイド(パン フレット)の 作成	ガイドブック の内容を簡 素化したパ ンフレット作 成		ガイドブック の内容を簡 素化した猫 のパンフ レットの作 成	周知の実施	継続	継続	継続	継続	継続	〇平成28. 29年度発 行の犬および猫のリー フレットを保健所窓口 やイベント等で配布し た。
を施し愛動の棄禁しす実施、護物遺を止ます	13	外来生物への護護物の遺棄の禁止	来生物の放逐禁止、愛 護動物の遺棄の禁止を 周知徹底させていき す。 また、外堀(弁慶濠、 牛込濠、新見附濠)な どで、オオクチバラス、 ブルーギルなどの特関 外来生物の駆除に、取り 係機関と連携して取り 組みます。	課 【動物の適 正飼養ガ・ 下の作成・ 配布】	の内容を、最近の猫を 取り巻く地域状況の変 化や動物愛護法の改正 を踏まえたものとし、要 点を絞ったわかりやす いパンフレットを作成す る。		チラシの作 成	犬の簡易 リーフレット の素案作成	育普及の為のリーフレット「犬と幸せに暮ら	のリーフ レット「猫と	適正飼育の 普及	適正飼育の 普及	適正飼育の 普及	適正飼育の 普及	適正飼育の 普及	適正飼育の 普及	●一概に生物多様性といっても保護動物、野生動物、特定動物など、複雑な取態にある。行政側の取扱いがそれぞれ異なっており、取扱いの範疇や限界に違いがあるため、対応に苦慮している。

		行	動	計	画							事	業計	画					
内容		項目(事		内	容	担当部署	取組み					計画(_		(下段)					○評価 ●課題等
730	0	業名)		ro (		12000	4×14±01	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
						◆地域保健課 【愛護動物 の遺棄等に	愛護動物の遺棄の禁止 についてホームページ を活用し、普及啓発に	衛生動物に 関すする、特 にか来等も ホで 提供	継続	継続	継続	継続	愛護動物の 遺棄禁止を ホームペー ジで普及	継続	継続	継続	継続	継続	○東京都との連携により対応している。  ●愛護動物遺棄の情報周知は行っているが、ビジネス街等、本来愛護動物の生息が
6 来物の			ギル等 や、在 生育を ピアカ	フチバス、 等の特定外 E来生物の を脅かすミ	来生物 注息・ シシップ、 アメ	関する理解の普及】	努める。	情報提供	情報提供	情報提供	情報提供	情報提供	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	普及啓発	考えにくい場所で保護される個体も少なくないことから、実際に遺棄をなくすというところまでには至っていない。
対を施し愛動	13	外来生物 への対策 や愛護動 物の遺棄 の禁止	リカサ来生物制制を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を表現を	ナリカニな 物の放逐禁 物の遺棄の 敬底させて 外堀(弁	さい外 注し、愛 か禁止を いきま で			検討	実態調査の 検討	実態調査	連携による対策の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
の棄禁しす			牛込済 どでルー 外来性 係機関	<ul><li></li></ul>	湯)な バス、 の特定 に、関 で取り	◆道路公園 課 環境政策課	国や都と連携した外来 生物対策を検討し、実 施していきます。 また、外来生物に関す る実態調査を実施しま す。	清水谷公園内の池の生きもの調査の準備	清水谷公園内の池の清掃時に行う生物調査にの対	用が各公園 内の池について生物生	注意喚起の案内板等の設置について検討	注意喚起の案内板等の設置について検討	注意喚起の案内板等の設置について検討	注案設て 国と各のを ののい を のののい が のののい が のののい が のののい が のののい が のののののののののの	注意喚起の案内板等の設置について検討	注意喚起の案内板等の設置について検討	注意喚起の案内板等の設置について検討	案内板当の設置について検討	○日常管理の中で外 来生物に関する情報はない。 ●実態調査の内容を把握できていない。
								連携の継続			継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	Oアオコか大量発生する前に凝集剤を散布することにより、効果的にアオコを沈殿させ、悪臭・景観の改善に役立っている。
7国都他治と 携い河川堀水を善ま 7 や、自体連携、河・の質改しす	14	神田川・日本・内堀・外質・基本・外質・基本・外質・基本・外質・基本・大学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	水継境(本自し質河向質続省外橋治済作品が	問す(団川)体表といるというではというでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、 というでき いっぱい おいまい かいしょう しょう いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱい いっぱ	監に東川他も別れ改働すれ、京・関携、の手を環都日係。	◆課環く【のにき 環 境り堀水向かけ】 が づ課川善働	外濠の水質改善のために、東京都下水道局が 行っている水質改善事業(外濠流域合流式)、 外濠流域合流式)、 外濠(市ヶ谷濠・弁 別濠・新見附濠・牛込、協 力を行います。	東京都下水道では、大場では、大場では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	東道策進た水た建部行家局のめ、質め設とっている。な善京河議。な善京河議のがある。	・東道の事業を表現の主義を表現の主義を表現の主義を表現の主義を表現の主義を表現の主義を表現の主義を表現を表現を表現を表現している。 また ・ 東京 は は は できます は また は	平か建りる(弁見込渫細た濠査れ査手成ら設着外市慶附濠工設りのが、結しな東局手濠谷濠濠の事計飯立行区果た年家にさ、濠・・浚のに田入わはを、まれ、・新牛浚詳あ、調入	・部ト南水へと議・て水関い旨た・局浚泥事た新市東及と北市流つ実京北活要協回 京よ用配行牛附谷羽東下の谷で、近水線用望力答 都るの管わ込濠濠河京な海、流水線用望力答 建外送工れ濠、川メ鉄湧濠こ協 あ 行る得 設濠	、鉄る湧谷す計た・をた濠濠濠・の行与勉都担合、株南をへ具を、渫施市新び、質討たに会関者)に北市放体整、エレヶ見牛、改を(る、3間より、よ線ヶ流的え、事、谷附込、善都る、区打	・鉄る湧谷実浄・外善貯及路す区の水制京株南をへ()が水た管引備千の始入地に北市放質 局質の設立に代協(押下よ線ヶ流質 局改の置管対田議汚	・外善貯及路す区(抑工・鉄る湧谷継浄水源の留び整ると汚制事京株南を入水の温質め設込に代協流及推地に北市放質局改の置管対田議入び進下よ線ヶ流質	・都プ進電行策とはがよめ ・外善施設込に協 かいがりではできないです。 水水からる というのでは 道質め貯び整で行行をが は 道質の貯び整で行行を が 大きのは 関引	・と推濠ジ環定対 ・改め湧画関び本がり、す化トなアを 濠の東導東各東検主都るプの暫力実 水た京入京局日計体が外ロ一暫コ施 質 駅計都及	・と推濠ジ環定対 ・下留完部 東導断がり、す化トなアを 宿道工し働 駅入念 はがりのる才実 側の事一開 駅計 の野が の の野が 始 勇一	ないが、昨今の猛暑等 気候変動により散布り の決定が困難になり、 凝集剤の過不足が問 題となっている。 また、貯留管の稼働が 遅れており、大雨時に 越流水が流入し、悪臭 苦情のもととなってい

		行	動	計	由							事	業計	画					
内容	N	項目(事業名)		内	容	担当部署	取組み					計画(_	1	(下段)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	○評価 ●課題等
7	0	<i>未石)</i>						25年度 河川・堀の 水質監視	26年度 継続	27年度 継続	28年度 継続	29年度 継続	30年度 継続	継続	令和2年度 継続	総続	令和4年度 継続	令和5年度 継続	〇河川については、神 田川流域6区による情 報交換を定期的に行
- 国都他治と携し河川堀水を善まや、自体連 、 ・の質改しす	14	神田川・ 日本・内 堀・外質 善	継境(本自、浄川ける)	するとと (内堀) 屈及び神 (休など)	るも、時でといっています。というでは、京・関では、いうでは、いうでは、いうでは、いうでは、いっちでは、いっちでは、いっちでは、いっちでは、いっというでは、いっというできない。	◆環境政策課 【河川・堀等水質調査】	環境監視の一環として、 水質の環境基準適合状況と経年変化を把達適とともに、水質の資料とするため質別者を行います。その質別を行います。で情報と関係と連携し、水質改善の働きかけを行います。	河川6か 河州6か 水の かかか がかか がかか を で で で で で で で で で で で で で で で で で で	所、堀7か所の水質検査を年4回	・河川6か所査実 ・結続署にしまる。 ・河川6かのを施 果きにはしまる。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	俗否を行	例く、所所年検い果きにしいが、に回をでのき部提供である。 では、 まま は は かい で は は まま は は かい で 質 は 続 署 供	・東局に浚泥事の管力と、東京に浚泥事た、まる、東島のでは、東京のではないがでは、東京のでは、東のでは、東のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のではないがでは、東のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東京のでは、東のでは、東のでは、東京のではないがでは、東京のではないがではないがではないがでは、東京のではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないがではないが	例く、所所年検い果きにし 「質め絡参年河濠お回をそ引係報。 濠善5議同6かて質 結続署供 水た連にじかて質 結続署供	年検い果きにし都のは、なり、大行結構をいまります。 大き男情にのをいるが、大き男情にのをいるが、大行結構をは、大きない。 大質 結続署供 濠なり	  ・アオコ対	快食を行い、その結果を引き続き関係報提供を実施を実施	快食を行い、その結果を引き続き関係報提供を実施	い、情報共有を図る。 河川・濠の水質 東は環境を 関し、 ・豪境を で で で で で で で で で で に で で に で に で に で に で に で に で に で に に で に で が な に で に で が な に で が な に で が な に で に で が な に で が な に で が れ は に で が が に に で が が に で が が に で が が に で が が が に で が が が が が が が が が が が が が
								助成の継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	〇令和5年度も引き続き、飼い主のいない猫に対する去勢・不妊手術事業が表した。
8遺・逐れ変動なの息を制	15)	遺棄・放た物のでである。	住みてたました。	Dき増え E物の生 影響を及 Nて、き 動助す。	RODE	(助成の継	飼い主のいない猫に対する去勢・不妊手術費用助成事業を継続し、 区内の飼い主のいない猫を減らしていきます。	助成実績: 124頭	助成実績: 126頭	助成実績: 108頭	助成実績: 54頭	助成実績: 53頭	助成実績: 52頭	助成実績: 43頭	助成実績: 58頭	助成実績: 26頭	助成実績: 15頭	助成実績: 22頭	ズにできた。「ちよだ猫まつり2024」の開催等により、周知の機会も広範囲に拡大でき、制度を認知される機会を創出した。  ●去勢・不妊手術頭数は減少傾向にある。
ど生数抑制		などへの 対策	ど野りものの周知	外に生息 への餌や 敵底と理	やコイな はする生の り禁止の と と と と と と り き よ の き よ の き よ る も り ま る も る も る も る も る も る も る も る も る も る			実態調査	周知の実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	〇餌やり等の申告に対 し、速やかに看板等を 設置し、餌やり禁止の 周知徹底に努めた。
します			J 137	ਰ <sub>•</sub>		◆道路公園 課	公園等での餌やり禁止などの看板を設置していきます。	調査実施(千鳥ヶ淵緑道での猫等への餌やり等)	児童遊園、 公園等に周 知看板等の 設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	適宜児童遊園、公園等 に周知看板 等を設置	

	行	動	計 画							事	業計	画					
内容	N 項目(事	内	容	担当部署	取組み						上段) / 実績						○評価 ●課題等
730	o 業名)			1	-10/121-1	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
						注意喚起	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続		<ul><li>○ハトの餌やりに対する注意喚起ポスターを</li></ul>
8遺・逐れ愛動なの息を制ます	遺棄・放 適変された 変護動への 対策	住在にに手まども周の生態である。成すい生態のある。成すい生態のある。	ドやコイな 息する生き やり禁止の 理解を求め けを進めま	◆環境政策課		する口頭注	りに対し口 頭注意やパ トロール及	りへの口頭 注意やパト	頭注意やパトロール及	りに対し口 頭注意やパ トロール及	りに対し口	りに対し口 頭注意やパ トロール及 びポスター	りに対し口 頭注意やパ トロール及 びポスター 掲示	ターた。 ・鳴き声書を発きさせが、	やりに対きかれる かいの かいの かいの かいりに対き かいい かいい かい か	・ハトの対した。 ・ハトの対意ルスター・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る。 ・スタる。 ・スタる。 ・スターでである。 ・スターでは、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、
						1 実施2 検討	1 実施 2 検討	1 実施·終 了 2 検討	2 検討	2 実施 更なる検 討	2 継続	2 継続	2 継続	2 継続	継続	継続	
9物様を識し、体に動き人育ます	生物多様 性の部 啓発施 【重点】	体観な及べしけ活性の大会の発を民日行をしていて、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、	極的に開催 事業者に向 生活や事業 る生物多様 つながる取 事例などを	◆商工観光課	1消費生活支援事業(環境配慮賞)や事では、環境配慮では、事のでは、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事では、事	・CESクラス店と I を支環に及 ・検討 ・活計 ・活計 ・活計 ・活計	・高作材を制度をは、 高川市の で間 で 間 のの	<ul><li>・イでは、</li><li>・イでは、</li><li>・イでは、</li><li>・イでは、</li><li>・大に実は、</li><li>・大にませい。</li><li>・大場を</li><li>・場を</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で</li><li>・ボー等で&lt;</li></ul>	・千鳥ヶ淵 ボート場の 活用策の検 討		ることによりその	・ボボーンのは、ボボーンのでは、ボボーンでは、ボーンでは、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな、大きな			ボお代も0布啓 ・ボお省管がたにマ布ーい田の21、を 鳥トて居事成季くプの場「いと理作、咲ッへ場「いし配及族」に、当なり、	が配啓・ボい居事成毎マへ・ボ台ニし、し布発手一て外務しにツの鳥ト看一の21、実が場境管が季花配力淵展をルステリの33一次では、実が場境管が季花配力淵展をルルッのをできまれば、1920年である。	○千鳥ヶ淵ボートは区内外から人が多く訪れるため、パンフレット等の配布は普及啓発に効果的だった。  ●千鳥ヶ淵の管理は環境省のため、ボート場で事業を行うには規制が多く、環境省との調整が必須。

		行	動	計	画							事	業計	画					
内容	. N	項目(事業名)		内	容	担当部署	取組み	a- tt-				計画(_		(下段)	A = = 1 = 1	A #	A = - 1 =	\ <b>*</b> : -	○評価 ●課題等
	0	生物多様	事、体、組織	業者や環境 大学など <sup>8</sup> 全やシン	・ ・ ・ はない ・ はない ・ はい ・ はい ・ はい ・ はい ・ はい			<ul><li>25年度</li><li>・シンポジウム開催</li><li>・見学会に向けた調整の実施</li></ul>	夏・秋の自 然観察会の 開催(2回 程度)	自然観察会開催	自然観察会開催	自然観察会開催	自然観察会開催	令和元年度 自然観察会 開催	新型コロナウイルス感染症の流行により、自	新型コロナウ イルスでによ の流行に観察 会は中止。 【代替事業の ・「千代田区	自然観察会開催	令和5年度 自然観察会 開催	〇募集人数を大きく上 回る申し込みがあり、 いずれの観察会の内 容も参加者にはおおむ ね好評であった。
9 生多性意して主的行		性の発の施を受験を表現である。	活曳	29年のでは、では、では、19年のでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	例などを	◆環境政策 課	夏休みに小学生を対象 に観察会を開催するな ど、幼いころから生物へ の関心を持つようなきっ かけづくりを行います。	<ul><li>・シンポジウム開催</li><li>・観察に関係機協議</li></ul>	·7月と10月 会 ・丸ずり M を ・丸ずの M を に 会 、 の り の り を 、 の り の に る 、 は 、 の り る 、 に る 、 は る し た る 、 は る た る 、 る 、 る 、 る 、 る と 。 る と 。 る 。 る と 。 る 。 る 。 と 。 と 。 。 と 。 と	児童館と連携し7月に2 関セミ羽化 観察会を開催	児童館と連携し7・8月に2回セミ羽化観察会を開催	7・8月に2 回、セミ羽 化観察のさ 生きも観察 を開催	<ul><li>・7、2 化生がを・めと月ど察のを</li><li>・7、回観きし開今でしにんと楽開 8 セ会の察 度試10の観も会</li><li>に羽とさ会 初み0 の観も」</li></ul>	<ul><li>・7セ察・7に生がを・1の観も会月羽をと月回も観催月んと楽別をとずの察にぐ生習催回観催月つさ会 秋りき</li></ul>	新ウ染に然中【・「で身ののて作型イ症よ観止替代み近生」の製コルのり、察。事代らなきこ下・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	身近な水辺 の生きも の」につい	・7月と8年 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日 10日	・フ日と8日	●セミ羽化観察会等については、回数や募集組数を増やし、より多くの子どもたちが観察を記けるとともに、子どもたちが生物多様性を実をおさらなる事業を対する必要がある。
付でるをて								自然体験・ 校外学習の 実施	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	継続	
₫	17)	体験学習 の充実	学育学習にし、	園、子どで 子ど校 ではないで ないで で で で で で で で で で で で で で で で で	<ul><li>・中等教</li><li>ンでを対し、</li><li>ンでを充実</li><li>とを大切に</li></ul>		幼稚園、こども園において、かまな、北の東京、ことも園では、北の東京、大大の東京、大大の東京、大大の東京、大大の東京、大大の東京、大大の東京、大大学では、大大学では、大大学では、大大学では、大大学では、大大学では、大大学が、大学が、大学が、大学が、大学が、大学が、大学が、大学が、大学が、大学	①園苑にに②井自実れやへよ触嬬沢然施丸宿遠然・で験ながののののののののののののののののののでは、これのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	①園苑にに②井自実北やへよ触嬬沢然施丸宿遠然・で験公御足然・軽ののの	①園苑遠じ触を②学軽のの北やな足自るった。神経を大きを大きを大きを大きを大きを大きを大きを大きを大きを大きを大きを大きを大きを	①園苑足てれも②学然教才シに然たれる御成足でれるの当校体室リョお体の外でのしたを、場では、またのは、ののは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、ののでは、のの	①園苑足てれも②学然教才シに然た北やな等、るか岩校体室、エントはのあるのとのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	<ul><li>①園苑足てれも②学然教オシに然た 北やな等、るつ岩校体室、エンコンに の新で通然会、 臨疾交大ン合いを 丸宿のしにを</li></ul>	①園苑足てれも②学然教才シに然たれやな等自機た井、験大ン合てをも機た井、験大ン合てを外でのしたを、臨嬬交大ア宿、行公御遠、ふ 海島 神川 等自っ	①ウ防施北やな等自機た②校つしているが公御をします。 はいいい はいいい はいいいい はいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	①イ対つやへしれた②外はイ影たて外習し合け(R3当型など等にも、今にはなの設触を はいるなどのでは、いるのは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、のは、の	①ウ防じ丸宿のしふも②教海自流お験務新イル対つ園苑にれつ箱室学然教けを課コス策北やな等然機、移保、験等自施口感を加入がな等然機、移保、験等自施は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	①ウ防じ丸宿のしふ提②学然教動お験務利ル対つ、園苑足自る 田、験、室る実)ロ感を北新どをは強いない、室のでは、は、ないのではないのでは、ないで	○新型コロナウイルス 感染防止対策を講じる で、本来の教育各種体験を実施した。 ●引き続き、新型コロナウを が表さいでは、新型コロウンがでは、 がまでは、 の対策を講じている。 要がある。

		行	動	計	画							事	業計	画					
内容	N	項目(事 業名)		内	容	担当部署	取組み			I				(下段)	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	A ==	A = - 1 =	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	○評価 ●課題等
	0	主体間の	事連横よって	がその( 協力し、 )連絡会7	也主体と 各主体 などに のネット		環境省や都及び事業	情報収集	開催 ・連絡会議	27年度 連絡会議開 催 四季に応じ 見学会の開 催	→環境協会	連携会議開催	30年度 連携会議開 催		令和2年度 連携会議開 催		令和4年度 連携会議開 催		〇令和5年度は、事業者と連携しながらイベント「生きものさがし自然塾」「リビエラSDGs作
	18	工情報 フーク では、	まが生者るや情活の取環報用で	区内のたる内の生活では、生物の生活を表別では、発見のは、発見の生活を表別では、発見のように、発見のように、発見のない。	だれもの業 は、関係を は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	◆環境政策課	者・区内の大学などを中心として、生物多様性の情報交換を行うネットワークを構築し、定期的な情報発信を行います。	環外務交 丸ずネ構な 皇理情施 さと 内館ワーン 大学 のりまり 大学 は できま かっぱい かい でき できる かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい かっぱい	・丸ず三上・河 内館住C台係つ ・連催 を及友Oとのい ・遺 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		区内大学及 び生物りま 世に団所と連 が 会議を開催	・区環議物賞らた境コ春東の大連開係のでは、生大かれ環エを制をあるでは、18種類のでは18種類のでは、18種類のでは、18種類のでは、18種類のでは、18種類のでは、18種類のでは18種類のでは18種類のでは18種類のでは18種類のでは	と環境連携	・区内大学 と環境連携 会議を開催	行により、 連件上業 ・事の生に が 様 イベン、 は を も で い で 、 は で い と 、 き 、 き 、 き 、 き 、 き 、 き し に い う い う い り し い り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り 、 り	感染症の流行により、 連携会議は	区の後援のもと、案に表生をといる生に関する性に対すると、実施のでは、	区の後援のもと、事に大家を 者提物する をはいいたを はにいたを はにいたを は、これを も、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを は、これを も、これを も、これを も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、 も、	品マンガ大賞作品」の開催に向けて広報紙で情報発信ができた。  ●大学や事業者、団体等の連携を拡大し、様々な視点からの情報を共有する場を検討する必要がある。
1C 生物 多植	) D		し、区 収集・ ことで 田区の	マ内の生物	関係を 関係を 関係を 関係を 関係を 関係を 関係を できる は 関係を は で は は は は は は は は は は は は は は は は は		以下の課題についての 検討を進め、平成27年	情報収集方 法の検討	情報の集 約・発信方 法(ホームペー ジの活用 等)の検討	情報収集 (モニタリン グ調査含む) 情報発信	情報管理・ 活用 関連した取 組みと 連携	継続	継続	継続	継続	継続	継続 区内17か所 にてモニタ リング調査 実施	継続	〇発見した生きものの 画像やランキング等を ホームページ上で掲載 することで、区内に生 息する生きものについ
生多性関。様な報技を集発信共し、	ਰਿ 2	生きもの情報の収集・管理・活用	よ指ま生しるし千分状	R環す収の は で で で で で で で で で で で で で	でく 管を生しこき様する 世集にてとも性くし 知関公でのの伝 の現え	◆環境政策課	度からの情報収集と情報発信をめざします。 ①情報収集方法 ②情報集約方法 ③情報発信方法	大学や企業 の取組みの 情報収集	集 千代田学で 提案をして	平成26・27 年度の生き ものさがし の実績を一 覧表で公表	覧表で公表	がしの実績 をホーム ページで公	継続	継続	継続	継続	継続 推進プラン の改写内17 カ所にてモ ニタリン実施 調査を実施		見する生きものについて親しみをもてるような情報発信ができた。 ●外部の人も活用できる「生データ」の公開や、蓄積された生きものさがしの情報の活用方法等を検討する必要がある。
し <sup>さ</sup> す	Ę						特定の生物(指標種)を 同じ調査手法で長期に わたり調査し、その変化	調査方法の 構築 手引書作成 試行の実施		継続	継続	継続	継続	継続	継続 新規に、調 査ガイドを 活用査を 「調加者を 集する。	継続	継続	継続 アプリ 「Biome」で の報告を開 始	○令和5年度からアプ リ「Biome」を用いた報 告を導入したことによ り、参加者が増加し、D
	200	区民参加型モニグ調査	グ調査 田区の 状と挑 状況に	)生物多様 後進プラン	し、千代 様性の現 ンの進捗 チェック	◆環境政策課	を把握するモニタリング 調査を区民参加で平成 26年度から実施します。 特に以下の点を考慮し ます。 ①身近で親しみやすい 指標種の選定	調査方法を 確定 (事項調査 査、調査 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	を作成・配 布し6月に調 10月に調 を実施 ・その結果 を1月に ホームペー		開金英元(6 月~10月) ホームペー ジ等で結果	調査実施(6月~10月) オームペーン等で結果 公表(2月)	調査実施(6月~10月) ホームペー ジ等で結果 公表(2月)	調査実施(6月~10月) ホームページ等で結果 公表(2月)	ホームペー ジ等で結果 公表(2月)	ホームペー ジ等で結果 公表(2月)	調査実施(6 月~10月) ホームペー ジ表(2月) 参人 人	【春編】4月 20日~5月 31日~で5月 31日~で9月 31日~で9月 31日~で月 31日~で月 31日~で月 31日~で月 31日~ 31日~ 31日~ 31日~ 31日~ 31日~ 31日~ 31日~	内に生息する生きものを身近に感じてもらう機会を増やすことができた。  ●生物多様性推進会議にて、モニタリンったなと思える仕組みを検討すべきとの意見があった。